自動車専用道路アイランドシティ線環境影響評価に係る環境モニタリング有識者委員会設置要綱

(目的)

第1条 平成25年6月27日付福岡県知事発通知「福岡都市計画道路アイランドシティ線に係る環境影響評価書について」の申し送り事項に従い、環境モニタリングや各種環境保全対策等を確実に実施するため、有識者委員会を設置し、事業予定者として指導・助言を受けて、環境に配慮したアイランドシティ線整備事業の推進を図ることを目的とする。

(名称)

第2条 設置する有識者委員会の名称は「自動車専用道路アイランドシティ線環境影響評価に係る環境モニタリング有識者委員会」(以下「委員会」という。)とする。

(業務)

- 第3条 委員会は次の事項について指導、助言を行う。
 - (1)環境モニタリング計画の策定に関すること。
 - (2)環境モニタリング結果の評価に関すること。
 - (3)上記の評価を踏まえた対策に関すること。

(組織)

第4条 委員会は学識経験者及び関係行政機関の職員で組織する。

(委員の任期)

- 第5条 委員会を構成する委員の任期は2年とし、補充された委員の任期は前任者の残任期間とする。
 - 2. 委員は再任されることができる。

(会長)

- 第6条 委員会に会長及び副会長を置く。
 - 2. 会長は委員の互選とし、副会長は会長が指名する。
 - 3. 会長は、委員会を代表し、会務を統括する。
 - 4. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

- 第7条 委員会の会議は、会長が招集し、会長がその議長となる。
 - 2. 会長は、会議を招集するときは、あらかじめ開催日時、場所及び会議に付する事案を委員に通知するものとする。
 - 3. 会長は、必要に応じ委員以外の者の出席を求めることができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、福岡市道路下水道局計画部高速道路推進課で行う。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会に諮って会長が定める。

附則

この要綱は、平成26年1月15日から施行する。

自動車専用道路アイランドシティ線環境影響評価に係る環境モニタリング有識者委員会名簿

役職	氏名	所属	専門分野		
委員	藤本 一壽	九州大学 名誉教授	騒音・振動		
委員	小島 治幸	九州共立大学 名誉教授	海岸工学 (沿岸環境工学)		
委員	田中 綾子	衛生工学 (化学・廃棄物)			
委員	柳 美代子	NPO 法人都市・建築遺産保存支援機構 理事	建築・景観		
委員	江口 和洋	元九州大学大学院理学研究院 助教	鳥類		
委員	福原 達人	福岡教育大学 教授	植物		
行政 委員	中牟田 啓子	福岡市環境局環境監理部長	環境行政		

環境配慮チェックシートについて

1 作成の目的

「環境配慮チェックシート」は、「自動車専用道路アイランドシティ線環境影響評価に係る環境モニタリング全体調査計画書」に基づき、工事中の環境保全措置等を確実に実施するため、事業者及び施工業者が相互に環境保全措置等の内容を認識し、実施状況を把握し、必要に応じて適切に改善措置を行うことを目的とする。

2 利用者

• 事業者、施工業者

3 利用段階

• 工事段階

4 利用方法

(1)調査計画に基づく調査(年4回程度)

事業者は施工業者の立会のもと、現場や関係資料を確認しながら環境配慮チェックシートを用いて調査する。また、事業者は施工業者が実施している(3)のチェック結果を確認し、日頃の環境配慮の実施状況を把握する。

(2) 施工計画時のチェック

事業者は施工業者に環境配慮チェックシートを周知するとともに、施工業者がその内容を施工計画に反映していることを確認する。

(3) 日常のチェック 施工業者は、日頃から環境配慮チェックシートを用いて実施状況を把握する。

5 環境配慮チェックシートの作成方針

- ・現場でも利用しやすいように工夫する。
- ・改善措置の必要性が一目で分かる様式とする。
- ・チェックの結果を現場にフィードバックし、改善されたことが分かる様式とする。

6 環境配慮チェックシートの様式

- (1)調査計画に基づく調査(年4回程度)
 - 対象者 事業者
 - ・使用する様式 環境配慮チェックシート (総括)・・・・・様式1-1 環境配慮細目チェックシート (調査時)・・・様式1-2
- (2) 施工計画時のチェック
 - · 対象者 事業者
 - ・使用する様式 環境配慮細目チェックシート (計画時)・・・様式2
- (3) 日常のチェック
 - · 対象者 施工業者
 - ・使用する様式 環境配慮細目チェックシート (日常)・・・・様式3

7 環境配慮チェックシートの改善等

環境配慮チェックシートは、チェックを効果的に実施し、周辺地域の状況等に応じたよりよいものとするため、実施の中でフィードバックし適宜改善していくとともに、工事の場所や内容等に応じて確認内容や確認頻度等を適切に選定するものとする。また、様式については、必要に応じてより使用しやすいように形式等をアレンジして用いるものとする。

確認欄		
欄		

環境配慮チェックシート(総括)

福岡市に7月、10月、1月、3月に提出

	工事名								工事区分	
	工期	平成	年	月	日~平成	年	月	月		
	調査日	平成	年	月	日					
		j	折属						氏名	
	事業者	j	听属						氏名	
	施工業者	j	折属						氏名	
		j	折属						氏名	

環境要素	影響要因	環境保全措置等		1	取組状況	ł	工业等 字体	改善
の区分	の区分	の調査事項	No.	適	要改善	該当なし	要改善事項	期限日
	建設機械	施エヤードへの散水	I -1-1					
	の稼働	作業者に対する建設機械の取 り扱いの指導	I -1-2					
粉じん等		工事用車両のタイヤ洗浄	I -2-1					
	工事用車両 の運行	工事用車両の集中を避ける運 行計画	I -2-2					
		工事用車両の運行方法に対す る指導	I -2-3					
		防音パネル等の遮音対策	I I−1−1					
	建設機械	低騒音型建設機械の採用	I I −1−2					
騒音	の稼働	作業者に対する建設機械の取 り扱いの指導	II -1-3					
45.8		建設機械の集中稼働を避けた 効率的稼働	II -1-4					
	工事用車両 の運行	工事用車両の集中を避ける運 行計画	II -2-1					
		工事用車両の運行方法に対す る指導	II -2-2					
	建設機械 の稼働	低振動型建設機械の採用	Ⅲ −1−1					
振動		作業者に対する建設機械の取 り扱いの指導	Ⅲ −1−2					
3,05,390	工事用車両	工事用車両の集中を避ける運 行計画	Ⅲ −2−1					
	の運行	工事用車両の運行方法に対す る指導	Ⅲ -2-2					
水の濁り	海底の掘削	鋼管矢板による橋脚下部の囲 い込み	IV −1−1					
11/42/10)	SAMPLES AN INTELLE	汚濁防止膜の展張	IV-1-2					
		アスファルト塊、コンクリート塊の再資 源化施設への搬出	V -1-1					
建設工事 に伴う副産物	切土工等又は 既存の工作物 の除去	建設発生土の処理状況	V-1-2				_	
		建設汚泥の再資源化施設への 搬出	V -1-3					
温室効果ガス		グリーン購入法に基づく特定 調達品等の使用状況	VI -1-1					
		建設機械等の燃料使用量の削減のための取組状況	VI-1-2					

要改善事項の確認



要改善事項No.		改	善確語	28日	事業者所属・氏名	施工業者所属・氏名
	平成	年	月	Ħ		
	平成	年	月	Ħ		
	平成	年	月	Ħ		
	平成	年	月	Ħ		

環境配慮細目チェックシート (調査時)

確認欄		
1940		

							[四四] [[1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [1] [
工事名							
工事区分							
					事業者	所属	氏名
調査日	調査日 平成年月日	日	李朱伯	所属	氏名		
阿正口	一杯	+	月	П	施工業者	所属	氏名
					爬上来有	所属	氏名

					Į	双組状 涉	5	備考	
区分	環境保全措置等の調査事項	No.	確認内容	主な 確認方法	はい	いい え	該当 なし	(具体的な内容や取り組まない場合の理由等) 写真撮影 の実施	改善 期限日
	施工ヤードへの散水	I -1-1-2	施工ヤードの防じん対策のため、強風時や乾燥時など必要に応じて適切に散水しているか。	現場確認					
	作業者に対する建設機械の 取り扱いの指導	I -1-2-2 II -1-3-2 III -1-2-2 VI-1-2-2	建設機械の取り扱いについて、研修会の開催、注意事項 の掲示、マニュアルの作成等により作業者に対して適切 に周知しているか。	関係資料確認	0	0	0		
	建設機械等の燃料使用量の 削減のための取組状況	I -1-2-3 II -1-3-3 III-1-2-3 VI-1-2-3	建設機械の取り扱い(建設機械の整備点検、エンジンの 空ぶかし、アイドリングストップ等)は適切に行ってい るか。	現場確認	_	_			
	防音パネル等の遮音対策	II -1-1-2	必要な箇所に防音パネルや防音シートを適切に設置して いるか。	現場確認					
建設作業	低騒音型建設機械の採用	II -1-2-2	低騒音型建設機械をできるだけ採用しているか。	現場確認					
	建設機械の集中稼働を避け た効率的稼働	II -1-4-2	必要に応じて工事工程を調整し、できるだけ建設機械の 配置を分散させ、特定の日や時間帯に建設機械の稼働が 集中しないように配慮しているか。	関係資料 確認	0	0			
		II -1-4-3	建設機械が保全対象付近で集中稼働していないか。	現場確認					
	低振動型建設機械の採用	ш-1-1-2	低振動型建設機械をできるだけ採用しているか。	現場確認					
	鋼管矢板による橋脚下部の 囲い込み	IV-1-1-2	海底の掘削箇所は鋼管矢板を適切に設置しているか。囲 い込みの不備により、周辺の海域に著しく濁りが漏れて いないか。	現場確認					
	汚濁防止膜の展張	IV-1-2-2	汚濁防止膜を適切に設置しているか。破損したり、めく れたりして、周辺の海域に著しく濁りが漏れていない か。	現場確認	_	0			
	工事用車両のタイヤ洗浄	I -2-1-2	工事用車両のタイヤ洗浄を必要に応じて適切に実施して いるか。	現場確認					
	工学用年間のブイ で元序	I -2-1-3	工事用車両のタイヤの洗浄不備により, 一般道路が土で 汚れていないか。	現場確認					
		I -2-2-2 II -2-1-2 III-2-1-2	必要に応じて工事工程を調整し、特定の日や時間帯に運 行台数ができるだけ集中しないように配慮しているか。	関係資料確認		0			
工言田書志	工事用車両の集中を避ける 運行計画	I -2-2-3 II -2-1-3 III -2-1-3	工事用車両が一般道路に集中していないか。	現場確認					
工事用車両 の運行		I -2-2-4 II -2-1-4 III -2-1-4	工事用車両は計画ルート以外を走行していないか。	現場確認	_				
	工事用車両の運行方法に対 する指導	I -2-3-2 II -2-2-2 III -2-2-2 VI-1-2-4	工事用車両の運行方法について、研修会の開催、注意事項の掲示、マニュアルの作成等により作業者に対して適切に周知しているか。	関係資料 確認	_	_			
	建設機械等の燃料使用量の 削減のための取組状況	I -2-3-3 II -2-2-3 III -2-2-3 VI-1-2-5	工事用車両の運行方法(車両の整備点検、制限速度、発 進・加速、アイドリングストップ等)は適切か。	現場確認	0	_			
	7スファルト塊、コンクリート塊の再資源化施設への搬出	V-1-1-2	7スファルト塊、コンクリート塊は再資源化施設へ適切に排出しているか。	関係資料 確認					
廃棄物の 処理等	建設発生土の処理状況	V-1-2-2	建設発生土は計画どおり有効利用されているか。 □ 現場内での再利用 □ 工事間利用 □ 採石場跡地(指定処分場)等への埋め立て利用 □ その他[関係資料確認	_	0		搬出先等	
	建設汚泥の再資源化施設へ の搬出	V-1-3-2	建設汚泥は再資源化施設へ適切に排出しているか。	関係資料 確認					
	グリーン購入法に基づく特 定調達品等の使用状況	VI-1-1-2	グリーン購入法に基づく特定調達品等をできるだけ使用 しているか。	関係資料 確認					
その他	苦情の有無		粉じん、騒音、振動等の苦情はないか。	関係資料 確認					

要改善事項の確認



要改善事項 No.	改善内容			ī	汝善確認日	事業者所属・氏名	施工業者所属・氏名		
		平成	年	月	Ħ				
		平成	年	月	Ħ				
		平成	年	月	B				
		平成	年	月	B				

環境配慮細目チェックシート (計画時)

確認欄		

工事名							
工事区分							
確認日	平成	年	月	B	確認者	所属	氏名

				1	取組状沥	<u> </u>	備考
区分	環境保全措置等の調査事項	No.	確認内容	はい	いいえ	験当なし	(具体的な内容や取り組 まない場合の理由等)
	施エヤードへの散水	I -1-1-1	施エヤードの必要な場所に散水設備を配置する 計画としているか。				
	作業者に対する建設機械の 取り扱いの指導	I -1-2-1 II -1-3-1 III-1-2-1	建設機械の取り扱いについて、研修会の開催、 注意事項の掲示、マニュアルの作成等により作 業者に対して適切に周知する計画としている か。				
	防音パネル等の遮音対策	п-1-1-1	施工ヤードの必要な箇所に防音パネルや防音 シート等の適音対策を図る計画としているか。				
建設作業	低騒音型建設機械の採用	II -1-2-1	低騒音型建設機械をできるだけ採用する計画と しているか。				
	建設機械の集中稼働を避け た効率的稼働	II -1-4-1	建設機械の集中稼働をできるだけ避ける計画と しているか。				
	低振動型建設機械の採用	ш-1-1-1	低振動型建設機械をできるだけ採用する計画と しているか。				
	鋼管矢板による橋脚下部の 囲い込み	IV-1-1-1	海底を掘削する際は、鋼管矢板により構脚下部 を囲い込む計画としているか。				
	汚濁防止膜の展張	IV-1-2-1	海底を掘削する際は、汚濁防止膜を展張する計画としているか。				
工事用車両の運行	工事用車両のタイヤ洗浄	I -2-1-1	必要な場所で工事用車両のタイヤ洗浄を行う計 画としているか。				
	工事用車両の集中を避ける 運行計画	I -2-2-1 П-2-1-1 Ш-2-1-1	工事用車両の一般道路の運行時間帯の集中をできるだけ避ける計画としているか。 ・工事の工程管理によりできるだけ運行台数の集中を避ける。 ・運行ルートはできるだけ住宅街を避ける。 ・運行時間帯はできるだけ通勤・通学の混雑時間帯を避ける。				
	工事用車両の運行方法に対 する指導	I -2-3-1 II -2-2-1 III-2-2-1	工事車両の運行方法について、研修会の開催、 注意事項の掲示、マニュアルの作成等により作 業者に対して適切に周知する計画としている か。				
	アススファルト塊、コンクリート塊の再資 源化施設への搬出	V-1-1-1	7ススアルト塊、コンクリート塊は再資源化施設へ適切に排出する計画としているか。		_		
	建設発生土の処理状況	V-1-2-1	建設発生土はできるだけ有効利用に努める計画としているか。				搬出先等
廃棄物等の処理等	建設汚泥の再資源化施設への搬出	V-1-3-1	建設汚泥は再資源化施設へ適切に排出する計画 としているか。				
	グリーン購入法に基づく特 定調達品等の使用状況	VI-1-1-1	グリーン購入法に基づく特定調達品等をできる だけ使用する計画としているか。				
	建設機械等の燃料使用量の 削減のための取組状況	VI-1-2-1	建設機械等の燃料使用量をできるだけ削減する 計画(建設機械及び工事用車両の効率的な運転 等)としているか。		0		

環境配慮細目チェックシート (日常)

確		
確認欄		

工事名							
工事区分							
確認日	平成	年	月	B	確認者	所属	氏名

					取組状	組状	況	備考	
区分	環境保全措置等の調査事項	No.	確認内容	確認 頻度 の目安	はい	いいえ	該当なし	(具体的な内容や取り組まない場合の理由等) 写真撮影 の実施	改善 期限日
	施エヤードへの散水	I -1-1-2	施工ヤードの防じん対策のため、強風時や乾燥時な ど必要に応じて適切に散水しているか。	毎日				□適宜	
	作業者に対する建設機械 の取り扱いの指導	I -1-2-2 II -1-3-2 III -1-2-2 VI-1-2-2	建設機械の取り扱いについて、研修会の開催、注意 事項の掲示、マニュアルの作成等により作業者に対 して適切に周知しているか。	月1回	0		0	□適宜	
	建設機械等の燃料使用量 の削減のための取組状況	I -1-2-3 II -1-3-3 III-1-2-3 VI-1-2-3	建設機械の取り扱い(建設機械の整備点検、エンジンの空ぶかし、アイドリングストップ等)は適切に 行っているか。	毎日	0				
	防音パネル等の遮音対策	п−1−1−2	必要な箇所に防音パネルや防音シートを適切に設置 しているか。	月1回					
建設作業	低騒音型建設機械の採用	π-1-2-2	低騒音型建設機械をできるだけ採用しているか。	配置時					
ÆRIF#	建設機械の集中稼働を避けた効率的稼働	п−1−4−2	必要に応じて工事工程を調整し, できるだけ建設機 核の配置を分散させ, 特定の日や時間帯に建設機械 の稼働が集中しないように配慮しているか。	月1回	_				
		п −1−4−3	建設機械が保全対象付近で集中稼働していないか。	毎日					
	低振動型建設機械の採用	ш-1-1-2	低振動型建設機械をできるだけ採用しているか。	配置時					
	鋼管矢板による橋脚下部 の囲い込み	IV-1-1-2	海底の掘削箇所は鋼管矢板を適切に設置している か。囲い込みの不備により、周辺の海域に著しく濁 りが漏れていないか。	毎日	_			□適宜	
	汚濁防止膜の展張	IV-1-2-2	汚濁防止膜を適切に設置しているか。破損したり, めくれたりして, 周辺の海域に著しく濁りが漏れて いないか。	毎日				□適宜	
工事用車両の運行	工事用車両のタイヤ洗浄	I -2-1-2	工事用車両のタイヤ洗浄を必要に応じて適切に実施 しているか。	毎日				□適宜	
		I -2-1-3	工事用車両のタイヤの洗浄不備により, 一般道路が 土で汚れていないか。	毎日					
	工事用車両の集中を避け る運行計画	I -2-2-2 II -2-1-2 III -2-1-2	必要に応じて工事工程を調整し、特定の日や時間帯 に運行台数ができるだけ集中しないように配慮して いるか。	月1回	_				
		I -2-2-3 II -2-1-3 III-2-1-3	工事用車両が一般道路に集中していないか。	毎日	_				
		I -2-2-4 II -2-1-4 III -2-1-4	工事用車両は計画ルート以外を走行していないか。	毎日					
	工事用車両の運行方法に 対する指導	I -2-3-2 II -2-2-2 III -2-2-2 VI-1-2-4	工事用車両の運行方法について,研修会の開催,注 意事項の掲示,マニュアルの作成等により作業者に 対して適切に周知しているか。	月1回				.□適宜;	
	建設機械等の燃料使用量 の削減のための取組状況	I -2-3-3 II -2-2-3 III -2-2-3 VI-1-2-5	工事用車両の運行方法(車両の整備点検、制限速 度、発進・加速、アイドリングストップ等)は適切 か。	毎日	_				
廃棄物の 処理等	7スファルト塊、コンクリート塊の再 資源化施設への搬出	V-1-1-2	アススファルト塊、コンクリート塊は再資源化施設へ適切に排出しているか。	月1回					
	建設発生土の処理状況	V-1-2-2	建設発生土は計画どおり有効利用されているか。 □ 現場内での再利用 □ 工事間利用 □ 採石場跡地(指定処分場)等への埋め立て利用 □ その他[]	月1回	0			搬出先等	
	建設汚泥の再資源化施設 への搬出	V-1-3-2	建設汚泥は再資源化施設へ適切に排出しているか。	月1回	_				
	グリーン購入法に基づく 特定調達品等の使用状況	VI-1-1-2	グリーン購入法に基づく特定調達品等をできるだけ 使用しているか。	月1回					
その他	苦情の有無		粉じん,騒音,振動等の苦情はないか。	毎日					

1

要改善事項の確認

要改善事項 No.	改善内容	改善確認日	確認者所属・氏名
		平成 年 月 日	
		平成 年 月 日	